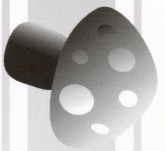


林産班



植菌職人「いざ」出陣!

2月になると林産班は大忙しで、待ちに待った植菌が始まります。植菌とは、秋に伐採した原木に椎茸の駒菌を打ち込む作業のことです。片手に小槌を持ち、エゴロンをかけたれば準備はOK。どの利用者達もやる気満々です。原木と向きあった途端、どの利用者も黙々と作業に取り組み始め、エゴロンのホケッツトから駒菌を取り出し原木へ打ち込んでいきます。その表情はとて豊かで、この作業が好きそうな様子が見えます。

今年度は1,000本の原木に秋山菌と森菌の植菌を行ないました。植菌に取り組み利用者の姿はまるで職人さんのようで、アツという間に終わってしまいました。これからも利用者の特徴・特性を生かした作業を行なっていききたいと考えています。これからも、職人たちに・・・応援よろしく!! (林産班 瀬野)

ハウス農耕班



平成12年10月に100坪のガラスハウスが完成し、利用者7名と指導員2名でハウス農耕班がスタートしました。当初、トマト・いちごを植え、続いてなす・いんげんも植えたが、生育温度がそれぞれ違うためになかなか思うように生育せず、収穫もできず悪戦苦闘の連続でした。しかし、徐々にいごが収穫できるようになり、おやつなどご食べ、トマトが収穫できる厨房に食材として提供したりと学園の生活に貢献できるようになりました。現在は、なす苗作りを行っており、G・W前には販売したいと思っております。夏場にはスイカにも取り組んでいきたいと考えています。今後も研究・勉強を重ねより効果的にハウスを利用していきたいと考えています。ぜひご期待下さい。(ハウス農耕班 武内)



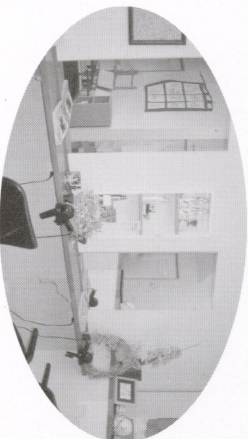
ボランティアありがとう



美容室『シャンズー』(市原市田淵2271)の周りは、緑があふれ、自然に恵まれたところであり、建物はモダンな造りで、黄色の壁は、道を通る人の目を引きまします。

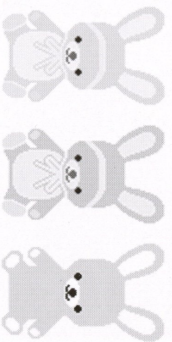
『シャンズー』さんは、平成9年10月にオープンしました。店長の田中さんは、お店のオーナーにあたり周囲の人々が暖かく向かい入れてくれ、協力してくれたことが嬉しく、いつか恩返しをしたい・・・と思ひ、自分ができることは、髪を切ることで、そのことではできないかと考えていました。そんな時に吉沢学園のことで知り、平成10年7月からボランティアとして、利用者の髪を切って頂いています。

利用者は、毎月といていいほど『シャンズー』さんにお世話になっていきます。不思議なことには、髪の毛を切ってもらって



る間の利用者は静かで動くことがありません。切りながら利用者が飽きない様、話しかけてくれるので、そのことでみんな安心していられるのかもありません。切り終わって鏡を見てニッコリ、きれいな髪になりました。満足げでいつも帰ってきてきます。帰ってきてからも、指導員からきれいな髪になったねと褒められると嬉しさが止まらず、何度も鏡を見たり、美容室でのことを話してくれました。

みんな『シャンズー』に行くことをとても楽しみにしています。これからも続けて頂けたらと思っています。私たちが感謝の気持ちでいっぱいです。『シャンズー』の皆様、いつもありがとうございます。(岩瀬)



地域の声



ききょうタイムス編集部は、地域の取材に出かけてきました。今回は、リサイクル班での石鹸作りで使う廃油を頂いている吉沢の常泉榎市郎さんのお宅に伺い、学園に對するご意見を伺いました。

常泉さんは、「体育館建設の際に家族全員で理解で、昔からの田んぼを提案したことで学園には愛着がある。また、学園ができたことにより地域の活性化、地域住民の雇用、子供達とのふれあいにより村が明るくなった。そしてなによりも吉沢の知名度が上がったことが嬉しい。」と語って下さいます。そして、「今後更に学園と地域との交流を活発にして欲しい。新しく始めたパン作りや、華やかな鼓笛隊。学園バザーなどの色々な企画を地域の皆は楽しみにしているの、これからも職員と園生達でこの地区を盛り上げていって欲しい。」と、たくさんのお返事を頂きました。(清水)



▲常泉さんご夫婦